

# 京都西山短期大学

## 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	京都西山短期大学		設置者名	学校法人 京都西山学園				
学部・学科等の名称等		認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)				
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
	仏教学科 仏教保育専攻	50人	幼二種免	平成20年度				
入学定員合計		50人	合計		人	人	人	人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月21日（水）

実地視察大学：京都西山短期大学

実地視察委員：大原正行委員、狩野浩二委員、高岡信也委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

- ・ 1学科1専攻において、幼稚園教諭の養成を行っている。

### <講評>

- ・ 全般的に基準は満たしているが、より積極的な取り組みを期待する。
- ・ 授業の質を確保するため、授業形態を工夫し、授業態度等、学生の動向を注視してほしい。
- ・ 視野を広げ、常にアンテナをはってほしい。
- ・ 体験を通して学べることを大切にし、教職課程へのフィードバックの方法を再考してほしい。
- ・ 現職教員との人事交流等を積極的に行い、一度教師を志した学生を最後までフォロー出来る全学的な組織を確立させてほしい。
- ・ 地域社会との連携だけではなく、高校とも積極的に交流してほしい。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

- ・ 建学の精神のもと、（1）いのち尊重の保育（2）多様な価値観をみとめ、個性をひきだす保育（3）社会貢献を通じて自己表現をめざす保育 を基軸とする教員養成を行っている。

### <講評>

- ・ 設置理念、教員養成に対する理念は確立されているが、具現化されていない。教員養成に責任を持ち、理念・構想を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるよう努めてほしい。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、教員組織、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

- ・ 複数の科目において、含むことが必要な事項を含むと確認出来ないため、授業計画を再考の上、含むことが確認出来るようシラバス上に明記すること。
- ・ 出席することは当然であるため、出席することのみをもってプラスの評価を与えることは適切ではない。よって、評価方法を改めること。

## ■ 教育実習の取組状況

### <講評>

- ・平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」を参照の上、大学の責任において実習校を確保し、大学の教員と実習校の教員が連携して指導に当たる機会を積極的に取り入れること。また、実習校により評価にばらつきが生じないように留意すること。
- ・受講資格をきちんと定め、教育実習の受講がより有意義なものとなるよう指導体制を再考すること。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

(大学)

- ・長岡京市と連携し、市内の小学校、付属幼稚園との交流等を利用した現場体験活動を行っている。

### <講評>

- ・取り組みは大変素晴らしい。それらの体験活動を教職課程にどのようにフィードバックし活かしていくかを再考の上、より充実したものにしてほしい。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <講評>

(大学・短期大学共通)

- ・1人1人の学生に目が行き届く環境を活かし、教員を志した学生が教員免許を取得し、就職するまでつなげられる体制を整備してほしい。
- ・平成18年答申を参照の上、適切な教職指導、実習指導をすること。
- ・全ての授業において、社会人になるためのしつけ等が必要なため、大学が全学的に取り組むこと。

## ■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

### <状況>

- ・教職課程委員会と教育実習委員会が主に教職指導を行っている。

### <講評>

- ・教職課程認定基準等を正確に理解し、教職事務を適切に対処すること。
- ・教職課程委員会と教育実習委員会のそれぞれの役割を明確にし、連携を密にすること。
- ・チェック体制を強化し、全学的な組織がより充実したものとなるように努めてほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・施設・設備を十分に地域社会との交流の場となるよう工夫されていることはすばらしい。
- ・教職関連図書を充実させ、配置についても学生が利用しやすいよう工夫すること。